

[水泳]

日本学生50メートル自由形で岩崎5位入賞

関東学生では50メートル自由形優勝

9月1日から3日まで東京辰巳国際水泳場で日本学生選手権競泳競技(インカレ)が行われ、女子50メートル自由形に出場した岩崎優(経営3・湘南工科大附高)が5位入賞を果たした。

今大会、100メートル自由形に力を入れていた岩崎だが、決勝進出はならず、50メートル自由形で自己ベストを出したものの表彰台には至らなかった。

大会後岩崎は、「100メートルで結果を残せなかったのは残念だったが、50メートルで自己ベストを出せてよかった。10月の国体では100メートルで自己ベストを出したい」と語った。

また、関東学生選手権水泳競技大会(8月1～3日、同会場)では、岩崎が50メートル自由形で見事優勝に輝いた。

岩崎は100メートル自由形でも2位。加藤恵理子(文4・八王子高)が個人メドレーの200メートル・400メートルでそれぞれ2位と奮闘し、女子団体でも7位となった。

(中西俊介・ネット情報3)

[水球] 関東学生

4位でリーグ戦終了

8月11日から9月3日まで、専大生田プールほかで関東学生水球リーグ戦が行われ、専大は4位でリーグ戦を終えた。

初戦を13対12で制して勢いに乗り、その後3連勝。4勝3敗で1次リーグ4位となり、上位4チームの順位決定戦へ進出した。「昨年の4位から一つでも順位を上げたかった」と右田裕亮主将(商4・由良育英高)は語ったが、日大、日体大、早大の壁は厚かった。

右田主将は「今の実力で言えば納得の結果。課題の泳力、守備力、カウンターは順調に良くなってきている。9月のインカレではベスト4を目標に頑張りたい」と語った。

(中西 俊介・ネット情報3)

[ボクシング] 九州アマチュア選手権

川内が2年連続優勝 フェザー級は外尾が準優勝

九州アマチュアボクシング選手権が8月18日から20日まで、熊本市総合体育館で行われ、ライトウェルター級で川内将嗣(商3・龍谷高)が優勝。昨年のウェルター級優勝に続き、2年連続優勝を達成した。

また、フェザー級で外尾和哉(商1・佐賀工高)が2位に入賞。ともに9月30日から兵庫県で行われる国体の佐賀県代表選手に選ばれており、さらなる活躍に注目したい。



川内将嗣

[漕艇] 関東学生カヌー

カヤックで総合準優勝

漕艇部が関東学生カヌー選手権(8月3～6日、千葉県黒部川漕艇場)に出場し、カヤック部門で総合準優勝という好成績を収めた。各種目の主な成績は次の通り。

【フォア1千メートル】佐藤大(経営4・谷地高)・佐々木一成(文3・田辺商高)・菅野唯(経営2・谷地高)・渡邊秀幸(法1・富士河口湖高)＝2位【5百メートル×4リレー】佐藤・佐々木・内山陽介(商3・市立銚子高)・渡邊＝2位【ペア1千メートル】渡邊・佐々木＝3位【ペア1万メートル】佐藤・菅野＝2位



▲フォア1千メートル2位のメンバー

佐藤主将代行は「文武両道を目指してきた成果が出た。自分の役割を理解し、向上心を持って練習しているため、雰囲気も良い」と話した。

(田口 能成・経済2)

[アーチェリー]

山本、佐伯—全日本学生出場へ

K・S・A・Fカップ 山本が準優勝

アーチェリーの各大会が8月に行われた。山本泰志主将(経営4・大宮開成高)、佐伯朋哉(経営1・大宮開成高)が、関東学生選手権、K・S・A・Fカップで上位に入賞し、9月14日から大阪で行われる全日本学生個人選手権のキップを獲得。“全日本、でも一射一射を大切に精いっぱい、戦ってほしい。

【関東学生選手権】

予選を通過した男子6人、女子5人が、8月22日から24日まで駒沢第一球技場で行われた本選に出場。佐伯の13位が最高順位だったが、15位の山本主将のほか女子3人が、K・S・A・Fカップへの出場権を得た。

【K・S・A・Fカップ】

25日、同会場で行われ、山本主将が準優勝を果たした。

接戦となった決勝戦。山本主将が最後に放った矢は時間外発射で無効。10点が取り消され、あと一歩及ばなかった。しかし、昨年に引き続きA・J・S・A・Fカップの出場権を手にした。

【関東学生フィールド選手権】

8月29日から31日まで、はなのやまフィールドアーチェリー場で行われた。予選を通過した内田香菜子(法3・大田原女子高)と小川真樹子(ネット情報3・志学館高)が決勝ラウンドに進出。内田は3位決定戦まで進んだが惜しくも敗れ、4位。小川は5位だった。

(荻野 敦子・文2)

[陸上競技] 箱根駅伝

「予選会」突破へ一丸となって…

通算63回目の箱根駅伝(東京箱根間往復大学駅伝競走)出場を目指す陸上競技部。今夏も暑さに負けず、部員一人ひとりが意識を高く持ち、妙高高原、北海道別海町・新得町、菅平と続いた夏期合宿で練習に励んだ。

長谷川淳副主将(経済4・専大松戸高)は「合宿では、昨年よりキツイ目標タイムを設定したが、全員がクリアし、良く頑張ったと思う。これだけやってきたのだという気持ちが予選会突破につながる」と振り返り、「部員全員が危機感を持っている分、今年は強いと思う。課題は体調管理をしっかりすること。けががなければうちは力のある選手ばかり。スタート前に盛り上がり一致団結できる、まとまりのあるチームでいたい」と語った。言葉の端々から、自信とチームを思う気持ちが感じられた。



▲菅平での合宿風景(撮影=有馬 利香・商2)

加藤覚監督は「前回箱根を走ったメンバーから3人抜けただけなので、中心戦力はほとんど変わらない。また1年次生がメキメキと力をつけている。全日本大学駅伝の予選会は9位だったが、長谷川・座間(マボロベネディック=商3・藤沢翔陵高)のエース2人が欠場した中でそこまで戦えた。その2人も今は調子を上げている。現在は走り込みから、スピードに切り替えているが、けが・体調には十分に注意していきたい」と語った。監督の話からは1年次生への大きな期待を感じた。堂々と力強い走りで上級生に刺激を与え、チームの活力源となってほしい。

予選会(10/21、立川市)まで残すところ約1カ月。全員が万全の体調で臨み、結果を出すことを願う。

(松本 かおり・文1)

[ゴルフ] 日本学生選手権

上位進出はならず

日本学生ゴルフ選手権が8月22日から25日まで江戸崎カントリークラブで行われた。女子は西村麻衣主将(商4・麻生高)ら5人が予選を突破したものの上位進出はならなかった。男子では、勝又崇之主将(経済4・小山高)が予選を突破したが23位に終わった。

また、9月5日から7日まで棚倉田舎倶楽部で行われたTOPY CUP日米大学対抗選手権には男子が団体戦に出場し、9位に終わった。「ふがいない。全員の調子が良くなかった」と、勝又主将。それでも「次の目標はもちろん秋のリーグ戦優勝です」と、すでに新たな目標に向かっている。

女子では横山倫子(文4・香川西高)が個人戦に出場。トップと1打差で最終日を迎えたが実力を出し切れず11位タイ。「どうしても勝ちたかった」と悔しさをにじませた。学生最後となる秋のリーグ戦での活躍に期待したい。

(澤田 和輝・法3)

《記録コーナー》

◇柔道部

▽東京都学生体重別選手権(9月3日、日本武道館)【男子73kg級】谷村宏大(法3・皇學館高)
=ベスト16全角)

◇バドミントン部

▽東日本学生選手権(8月30日～9月3日、北海道立総合体育センター)【団体】ベスト8【ダブルス】

木村綾(経営3・金沢向陽高)・梨木春花(商3・金沢向陽高)組、田中里実(商4・埼玉栄高)・水間可奈(商2・聖ウルスラ学院高)組=ともにベスト8

◇ローラースケート部

▽全日本ローラーホッケー選手権(8月24～27日、秋田県由利本荘体育館)女子=3位、男子
=4位

関東大学ラグビー・リーグ戦（2部）日程

9月	23日(土)	専大—国士大	12:00	中大G
	1日(日)	専大—白鷗大	14:00	専大伊勢原G
10月	15日(日)	専大—国武大	12:00	中大G
	22日(日)	専大—東洋大	14:00	中大G
11月	5日(日)	専大—山学大	14:00	日大稲城G
	11日(土)	専大—拓大	14:00	日大稲城G
	23日(木)	専大—埼玉工大	12:00	トヨタ府中G